

# 令和5年度 富県小学校グランドデザイン

学校（教育）目標 「自立共同の力を高める子ども」

○よく考え、やりぬく子ども ○仲よくみんなと支え合う子ども ○いつも明るくじょうぶな子ども

伝え合い	認め合い	心・体づくり
◎心を寄せて聞いたり話したりできる ◇友だちの考えを聞き、自分の考えを見返し対話、考えの再構築・表現力育成 ◇学習集団力の向上	◎個性尊重・寛容の心を育てる ◇人権教育の充実 ◇ともに活動し学ぶ楽しさ ◇児童会活動の充実	◎意欲を持ち継続できる ◇体力の向上、強い意志 ◇仲間意識の高まり ◇健康に関わる意識

相手意識を高めて	相互に向き合って	体づくりは心づくり
・はじめに「あいさつ」 ・授業中（各教科、特別活動等）で、伝え合う場面を位置づけ ・全校集会、児童会活動での伝え合い ・生活場面、縦割り活動等での伝え合い	・「おたがいさま」「ドンマイ」等の合い言葉 ・ルールを守り、思いやる仲間 ・児童会目標「楽しさにチャレンジできる児童会」を大事にした活動	・体づくり運動、がんばるマラソン(業間) ・歯の日(歯の健康チェック) ・クライミングウォール ・全校高鳥谷山遠足

全校研究テーマ「子どもたちが 自分の思いや考えを伝え合いながら お互いに学び合う姿をめざして」

## 子どもの学力向上のための四階層



### 第一層 安心安全の居場所づくり

- ①保小連携による入学前からの子ども理解 ②子どもの生活上の困難性を体験・理解する職員研修
- ③子ども理解の尺度(Q-U.学校アンケート)に基づく学級づくり④支えたい子への適切な支援・居場所の提供

### 第二層 全教職員の支援力向上

- ①子どもの支えどころを発見するアセスメント(学級観察.WISC等) ②ユニバーサルデザイン指導法の研修
- ③模擬授業で研修と教室実践の往復④学年会・職員会議・校内支援委・支援会議で情報共有・指導方針決定

### 第三層 基礎学力・体力の保証

- ①第二層の情報・指導法を元にした指導法の工夫(ユニバーサル5) ②端末を活用した学習の個別化
- ③からだづくりの時間・富小タイム等 特設時間の指導④NRT・全国学テ・体カテスト等からフィードバック

### 第四層 将来的な課題を解決する力の育成

- ①子ども自身の自己理解力の向上(何が得意か、苦手はどうするか=学習の個性化)
- ②集団生活上の課題発見能力の育成(学級の課題から学校の課題へ)
- ③集団生活上の課題解決能力の育成(授業・学級会・児童会等における対話的活動)
- ④以上を子どもが「主体的に」行うための協働の力の育成

## 特色ある教育

## 家庭・地域と共に

- 【縦割り班(なかよし班)活動】  
・スマイルタイム・なかよし集会でのふれ合い
- 【交流活動】  
・富県保育園との交流・姉妹学級  
・富県ふるさと祭りでの交流
- 【食育の推進(くらしの中の食)】  
・栽培活動、調理活動、農業体験活動、草取り、命をいただく
- 【全校での活動】  
・全校高鳥谷山遠足 等

### ☆信州型CS「とみがたっ子応援団」の推進

- 【ボランティア活動】  
・えがおみまもり隊  
・ふるさと学習「地域講師」  
・行事参加(遠足等)  
・読み聞かせボランティア
- 【PTA・同窓会による支援】  
・学校内外の環境整備等
- 【地域から学ぶ・地域を学ぶ】  
・地域に目を向けた学習、伝統  
・「御殿場遺跡」「井筋の歴史」「富県の産業」等

